


令和三年度 南九州大学・南九州短期大学卒業式 式辞

本日、学士、短期大学士、修士の学位を授与された皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。また、保護者の皆様には心から、お祝いを申し上げます。本日の卒業式はコロナ禍の中で、人数を制限して行うことになり、保護者の皆様にはYouTube ライブ配信のみにさせて頂いておりますことをご容赦願います。

また、南九州学園では令和三年度から南九州大学と南九州短期大学の合同卒業式となりました。

さて、南九州大学は、「豊かな自然と温和な気候に恵まれた環境のなかで、創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成するとともに、「食・緑・人」に関する専門分野において、社会に貢献できる人材を養成する」という理念の下に、実践的な教育や研究を実施してきております。また、本学の地球型のシンボルマーク（）は「環境と生命の調和」を表しております。そして、「食・緑・人」の専門分野は、人類にとって追求すべき、重要なテーマであると確信しております。

南九州短期大学は、「思いやりの心を有し、感謝を忘れず、地域社会に貢献しうる品格ある教養人を養成する」という教育理念の下に、幅広い教養を基礎とし、コミュニケーション能力を備えた社会的に有為な人材を養成してきております。また、国際教養学科のもとに7つのコースを擁し、時代のニーズを敏感に反映しております。

このように、本学は開学以来、半世紀に渡って、環境と生命にやさしい人間性や社会性をもつ人材を育てるという気風が根付いてきております。

今回、学生の皆さんが授与された学位は、皆さんが、「食や緑や人」の専門性、また、「幅広い教養を基礎としたコミュニケーション能力」を習得したことへの証（あかし）であります。それを得たことに誇りと責任をもって、これからの人生を歩んで行って頂きたいと願っております。

さて、皆さん、今、改めて学生生活を振り返ってみて下さい。

授業や実験・実習のこと、研究室でのゼミや卒論の研究、サークル活動やアルバイトなどで友人達と語り合ったことなど、きっと様々な思いが皆さんの胸をよぎっていることでしょう。それらのすべてが、かけがえのない思い出として心に深く刻みこまれていることでしょう。

一つ一つの経験は、学生時代の思い出を作ってくれただけでなく、今後、社会で生きるための力を育ててくれたのだということも忘れないでください。

皆さんがこれから飛び込む社会は、世界的に大きな激動の渦中にあります。少子高齢化に伴う人生100年時代の社会が現実となりつつあり、グローバル化やコロナ禍によって社会の在り様は大きく変化してきております。

これから入学する小学生の多くは、大学卒業後には、AIなどの技術革新により、職業も現在とは大きく変化することが予測されております。

このような社会の中で、皆さんは今までの価値観や常識が通用しない課題に直面する事が多いと思います。そして、それを解決するための確実な「答」はまだないのです。

そのために、課題を主体的に捉え、過去に囚われず自由に発想し、創造的に解決する能力がこれまで以上に求められることとなります。

また、自分と考えの違う人の意見を聞き、複数の人の意見を踏まえ、直面している課題に最終的に自分の判断を下して立ち向かう「知恵と決断力」も必要となります。

企業など雇用する側も、このように対応できる人材を望んでいるはずです。

かつて本学で学び、卒業していった学生の数は、これまでに、1万人を越えております。これらの先輩たちは、本学で習得した専門性・人間性に加えて、社会生活において、自分で獲得したスキルを発揮して、日本や外国でも大いに活躍しております。

これらの心強い先輩たちは、後輩の皆さんのがんばりに期待しており、また見守り、応援しているということも意識して、これからの社会生活を送っていただきたいと思っております。

「これからは皆さんが活躍する番です!」。卒業後も、私達教職員は皆さんを可能な限り支援していきます。

最後になりますが、どうか、皆さんが本学で学んだことを誇りとして、自信と気概をもって、それぞれの場でしっかりと役割を果たしていただけることを、心から願っています。

今後の皆さんのご活躍とご健康を祈念し、学長式辞とさせていただきます。
ご卒業誠におめでとうございます。

令和四年三月十日 南九州大学長・南九州短期大学長 前田隆昭